

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部企業立地課		■担当係	企業立地係
■評価事業名称	企業折衝事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060300 - 012	■会計区分	工業団地特別会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活かすまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	02 足腰の強い地域産業構造の構築		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	企業訪問を行い、市内工業団地への企業誘致を図る。企業訪問の実施			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	企業折衝事務	立地を検討している企業	①企業誘致説明会の開催 東京及び名古屋会場 各1回②パンフレットの印刷	①企業誘致説明会の開催 東京及び名古屋会場 各1回②パンフレットの印刷 ③誘致企業数 3社

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	3,200	4,674	5,489	4,512	
人件費	14,819	19,448	18,085	12,834	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	18,019	24,122	23,574	17,346	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	1企業当たりコスト	4,504,750円	12,061,000円	4,714,800円	5,782,000円	
02	企業誘致説明会の開催回数	2回	2回	2回	2回	東京と名古屋において企業誘致説明会を開催
03	誘致企業数	4社	2社	5社	3社	

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	1回当たりコスト	9,009,500円	12,061,000円	11,787,000円	8,673,000円	
----	----------	------------	-------------	-------------	------------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

立地企業数は順調に推移している。

問題点・課題等

売却できる区画が少なくなっている(南部・OA)

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

大口が必要企業や希望分譲区画に併せて分割するなど積極的に後藤野工業団地の営業をおこなう。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了